

令和元年度病害虫発生予報第9号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
きゅうり	べと病	やや少	並
	うどんこ病	やや少	やや少
	褐斑病	やや少	やや少
	退緑黄化病（防除情報第16号）	多	多
	ミナミキイロアザミウマ	やや少	並
	コナジラミ類	並	やや多
トマト	黄化葉巻病	やや少	並
	コナジラミ類	並	やや多
	ハモグリバエ類	少	やや少
レタス	灰色かび病	並	並
	菌核病	やや少	やや少
たまねぎ	ネギアザミウマ	やや多	やや多
いちご (本圃)	うどんこ病	並	並
	灰色かび病（防除情報第17号）	やや多	やや多
	アブラムシ類	並	並
	ハダニ類（防除情報第18号）	やや多	やや多
ブロッコリー	黒腐病	並	並
	べと病	並	並
	コナガ	やや少	やや少

【発生予報】 本文の（ ）内は平年値

きゅうり

1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 12月前期の巡回調査（9筆）の結果、発病葉率は0.2%（0.7%）、発生圃場率は11.1%（16.4%）であった。

イ 向こう1か月の降水量は平年並または多い見込みであり、本病の発生に好適である。

2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査（9筆）の結果、発病葉率は3.0%（4.7%）、発生圃場率は22.2%（41.0%）であった。

3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(9筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.1%、発生圃場率3.2%)。

4. 退緑黄化病

令和元年12月17日付け、**病害虫発生予察防除情報第16号**による。

5. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 12月前期の巡回調査(9筆)の結果、寄生葉率は0.2%(0.8%)、発生圃場率は22.2%(13.4%)であった。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

6. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 12月前期の巡回調査(9筆)の結果、寄生葉率は0.7%(0.5%)、発生圃場率は11.1%(22.8%)であった。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア タバココナジラミはウイルス病(キュウリ退緑黄化病)を媒介するので注意する。

イ 茎葉が繁茂すると薬剤防除が困難となるので、早期発見、早期防除に努める。

ウ 薬剤抵抗性発達阻止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

トマト

1. 黄化葉巻病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.2%、発生圃場率15.9%)。

2. コナジラミ類

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 12月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は1.3%(1.1%)、発生圃場率は50.0%(31.8%)であった。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア タバココナジラミはウイルス病を媒介するので注意する。

イ 密度が高くなると防除が困難となるので、早期発見、早期防除に努める。

ウ 薬剤抵抗性発達阻止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

3. ハモグリバエ類

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

ア 12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(被害葉率0.4%、発生圃場率10.5%)。

イ 向こう1か月の気温は平年より高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

レタス

1. 灰色かび病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(10か年平均発病株率0.0%、発生圃場率0.7%)。

2. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(15筆)の結果、発病株率は0.0%(0.2%)、発生圃場率は14.3%(20.8%)であった。

たまねぎ

1. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(16筆)の結果、寄生株率は8.0%(5.9%)、発生圃場率は50.0%(37.6%)であった。

いちご

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(26筆)の結果、葉での発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率0.9%)。また、果実での発生も認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率0.0%)。

2. 灰色かび病

令和元年12月17日付け、**病害虫発生予察防除情報第17号**による。

3. アブラムシ類

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(26筆)の結果、寄生株率は1.3%(1.5%)、発生圃場率は26.9%(15.7%)であった。

4. ハダニ類

令和元年12月17日付け、**病害虫発生予察防除情報第18号**による。

ブロッコリー

1. 黒腐病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は0.3%(0.8%)、発生圃場率は16.7%(9.4%)であった。

2. ベと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.0%、発生圃場率1.0%)。

3. コナガ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

12月前期の巡回調査(12筆)の結果、寄生株率は2.0%(7.2%)、発生圃場率は33.3%(48.5%)であった。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027



【参考】

(令和元年12月12日発表 1か月予報 福岡管区気象台)
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	10	20	70
降水量	20	40	40
日照時間	40	30	30

※予報対象地域：九州北部地域

令和元年の気象経過 (長崎地方気象台)

